

■「名古屋飛島高速線」の整備に関するアンケート調査結果

1. 調査概要

(1) 趣旨

現在、臨海部における公共交通として、飛島バス名港線（一部蟹江線直通）を運行している。さらなるサービス拡充及び利便性の向上を図るため、三重交通の自主運行路線として、名古屋駅と飛島村臨海部を直接結ぶ新しい高速バス「名古屋飛島高速線」の運行を検討する。

飛島村臨海部で勤務する「従業員の皆さまの日頃の通勤実態と、新しい名古屋飛島高速線の利用見通し」を確認するため、アンケート調査を実施した。

(2) 配布対象

- 対象：名古屋港絵西部臨海地帯企業連絡協議会 会員企業（飛島村に住所がある事業所）
- 配布数：101 票（宛先不明 12 票） 有効調査先：89 票
- 回収数：41 票
- 回収率：46.1%

(3) 調査時期

- 発送：2021/5/14（金）
- 回収：2021/6/3（木）到着分まで
（※利用見込シミュレーションのみ 6/24 到着分 2 票追加）

(4) 質問項目

- 従業員数、通勤時の利用交通手段
- マイカー通勤に対する支援制度の有無
- 通勤時の渋滞の影響とその対策についての意向
- 名古屋飛島高速線の必要性、利用見通し
- 名古屋飛島高速線についての自由意見

2. 調査結果

(1) 属性

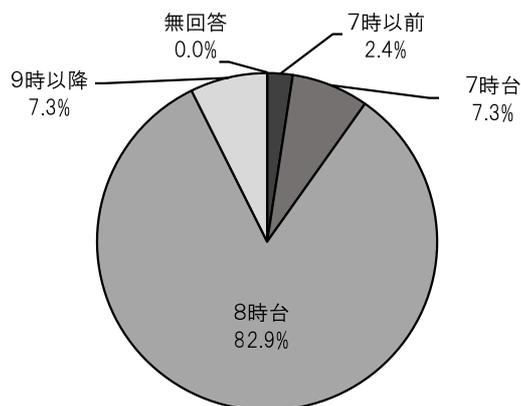
問1-1 従業員数【NA】

・最大値：1,300人 ・最小値：1人 ・平均：60.8人

問1-2 就業時間【NA】

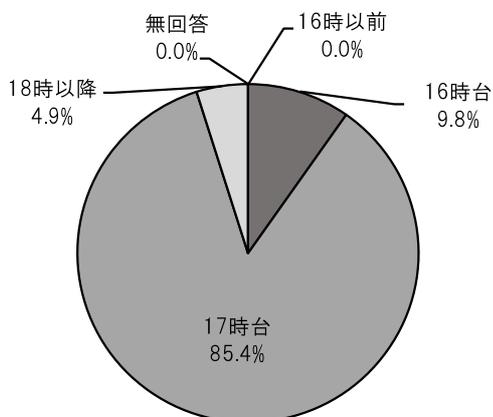
始業時間については、「8時台」が82.9%と最も多い。終業時間は「17時台」が85.4%と最も多く、次いで「16時台」(9.8%)、「18時以降」(4.9%)となっている。

【始業時間】



全体(SA)n=41

【終業時間】



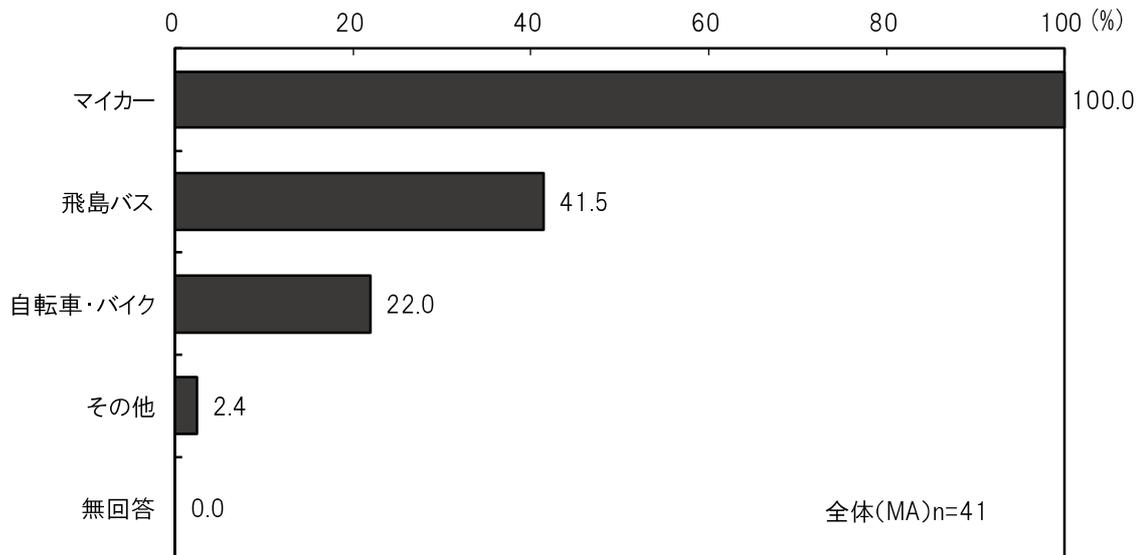
全体(SA)n=41

問2 通勤時の利用交通手段【MA】

飛島事業所の従業員数の内、利用交通手段とマイカー通勤の利用率を教えてください。

○事業所単位にみる利用交通手段

- ・事業所単位でみる通勤時に利用している交通手段は「マイカー」(100.0%)、「飛島バス」(41.5%)、「自転車・バイク」(22.0%)となっている。



○従業員割合にみる「マイカーの利用状況」

- ・事業所の従業員数に対する「マイカー」利用者数の割合は、平均 95%となっている。
- ・最小値：75% (3/4 人)、 最大値：100%

○従業員割合にみる「飛島バスの利用状況」

- ・事業所の従業員数に対する「飛島バス」利用者数の割合は、平均 3%となっている。
- ・最小値：0%、 最大値：33% (2/6 人)
- ・最大の利用者数は 40 人 (従業員 1300 人の事業所)

○従業員割合にみる「自転車・バイクの利用状況」

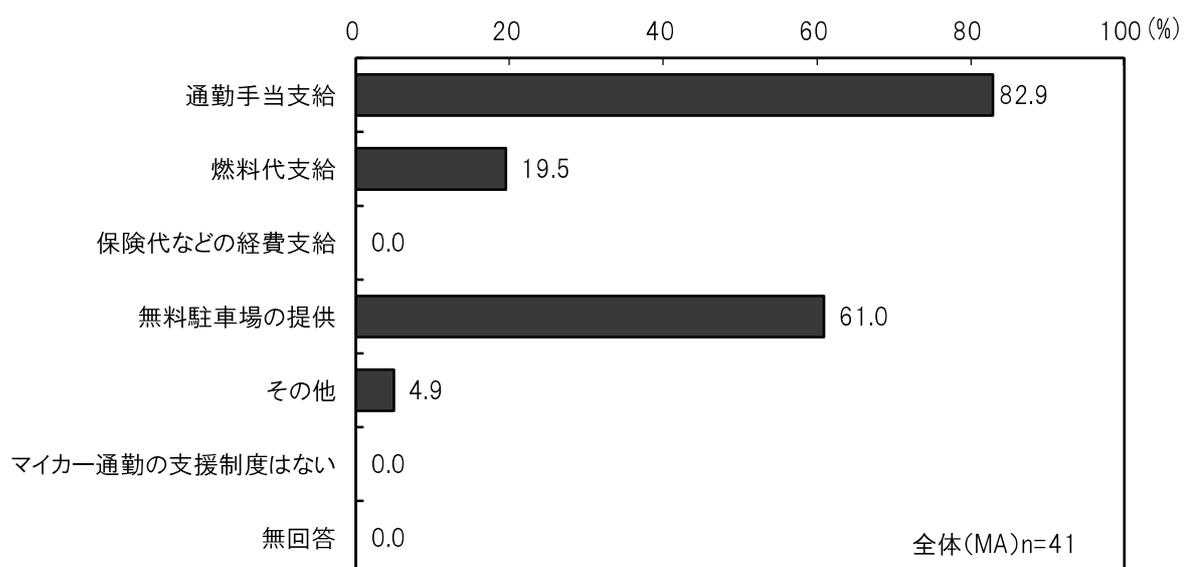
- ・事業所の従業員数に対する「自転車・バイク」利用者数の割合は、平均 1%となっている。
- ・最小値：0%、 最大値：13% (1/8 人)
- ・最大の利用者数は 30 人 (従業員 1300 人の事業所)

(2) マイカー通勤への支援について

問3 マイカー通勤に対する会社の支援制度の有無【MA】

マイカー通勤に対する会社の支援制度がありますか？ あてはまるものを選択してください。

マイカー通勤に対する支援制度について尋ねたところ、最も多いのは「通勤手当支給」で82.9%。次いで「無料駐車場の提供」が61.0%となっている。

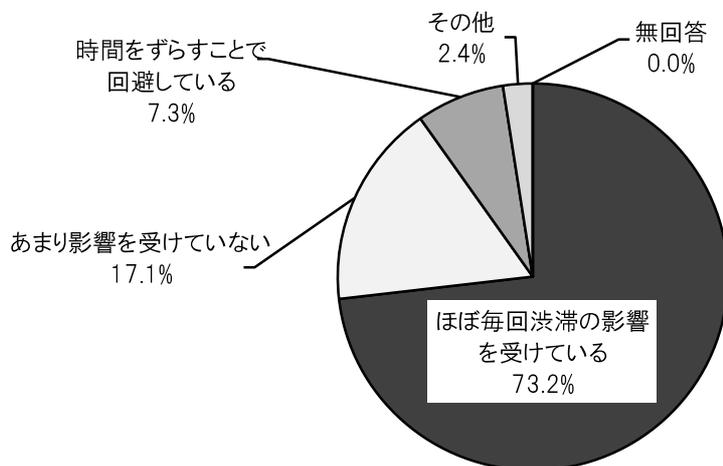


(3) 公共交通の活用・渋滞対策について

問4 通勤時の渋滞の影響について【SA】

従業員の通勤は「渋滞」の影響を受けていると思いますか？

通勤時の渋滞の影響については、「ほぼ毎回渋滞の影響を受けている」が73.2%、「あまり影響を受けていない」は17.1%となっている。

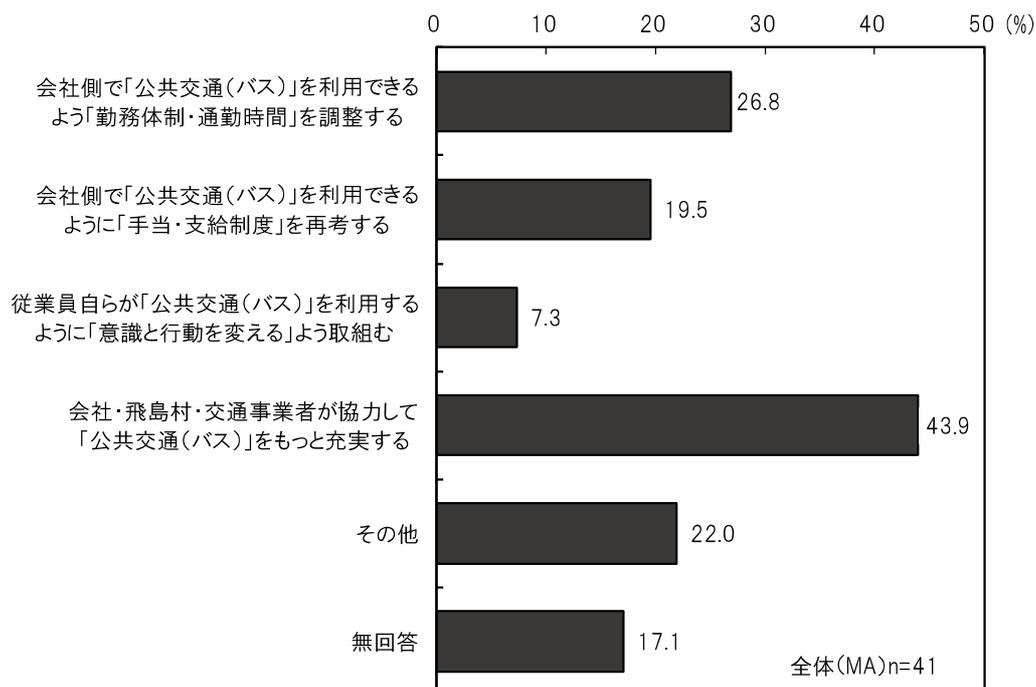


全体(SA)n=41

問5 通勤対策についての考え【MA】

「渋滞」回避のため、飛島村臨界部に立地する企業として、何か通勤対策を行うべきだと思いますか？ 同意できる選択肢全てを選んでください。

通勤対策について尋ねたところ「会社・飛島村・交通事業者が協力して「公共交通（バス）」をもっと充実する」が43.9%と最も多く、次いで「会社側で「公共交通（バス）」を利用できる「勤務体制・通勤時間」を調整する」が26.8%となっている。

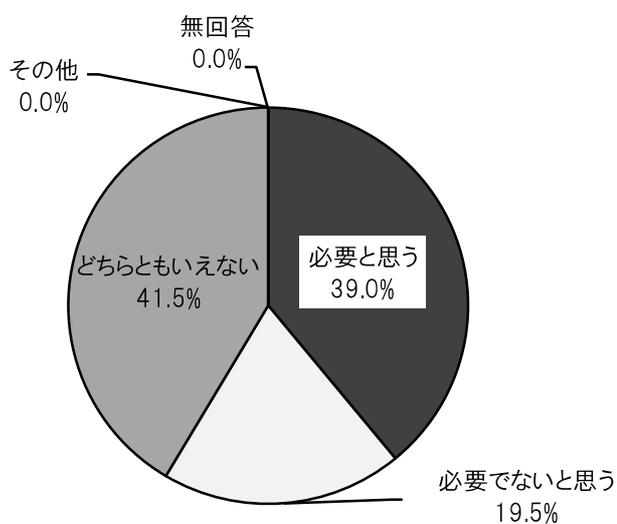


(4) 「名古屋飛島高速線」について

問6 「名古屋飛島高速線」の必要性【SA】

飛島事業所の通勤のため、「名古屋飛島高速線」は必要ですか？ あてはまるものを選択ください。

「名古屋飛島高速線」の必要性について「必要と思う」が39.0%、「どちらともいえない」が41.5%、「必要でないと思う」は19.5%であった。

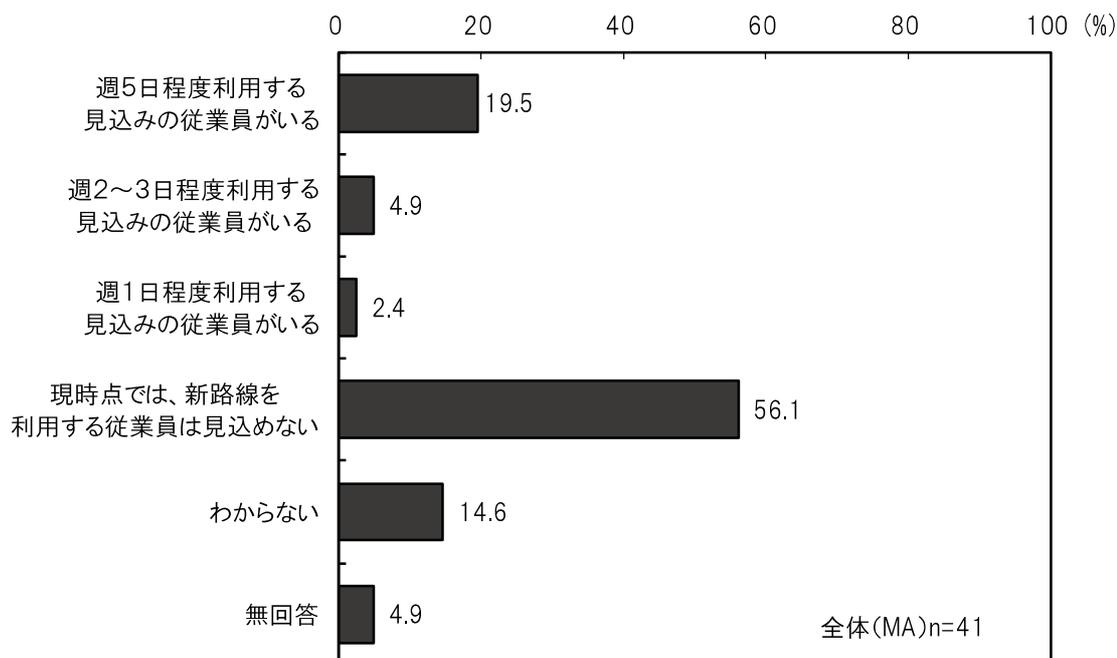


全体(SA)n=41

問7 「名古屋飛島高速線」の利用見込み【MA】

「名古屋飛島高速線」を利用する見込みの方はいらっしゃいますか？

「名古屋飛島高速線」の利用見込みを尋ねたところ、「週5日程度利用する見込みの従業員がいる」が19.5%、「週2～3日程度利用する見込みの従業員がいる」が4.9%、「週1日程度利用する見込みの従業員がいる」が2.4%であった。一方で「現時点では、新路線を利用する従業員は見込めない」が56.1%であった。



○週5日の利用見込み数 (＋税関8、三菱倉庫1)

・全体で9人 (回答従業員数2,494人に対する9人：0.36%)

(回答のあった事業所数：8事業所：発生確率19.5% 8/41事業所)

○週2～3日程度の利用見込み数

・全体で16人 (回答従業員数2,494人に対する16人：0.64%)

(回答のあった事業所数：2事業所：発生確率4.9% 2/41事業所)

○週1日程度の利用見込み数

・全体で2人 (回答従業員数2,494人に対する2人：0.08%)

(回答のあった事業所数：1事業所：発生確率2.4% 1/41事業所)

○「名古屋飛島高速線」の利用者数の見込み（シミュレーション）

名古屋飛島高速線の利用者数のシミュレーション検討を行った。

○推計1：単純総和

アンケートの回収先を単純に総和した推計1の方法では、1日当たりの利用者数（延回数）は53人回となる。

飛島村臨海部には、税務課が所管する法人データから、立地事業所数249事業所、従業員数6,836人と把握される。

○推計2：従業員数ベース

調査回収できた回答対象従業員（2,580人）から従業員母集団での拡大推計を行うと1日当たりの利用者数（延回数）は140人回となる。

○推計3：事業所ベース

調査回収できた回答対象事業所（43事業所）から事業所母集団での拡大推計を行うと1日当たりの利用者数（延回数）は306人回となる。

アンケートの回答結果が、100%そのまま利用行動に変容するとは考えられないが、臨海部立地事業者の協力と従業員への働きかけが適切に行われれば、1日最大200人規模の潜在需要は見込まれる。

推計1: 単純総和

・アンケートの回答データを総和した場合の推計

	週5日利用者	週2.5日利用者	週1日利用者	小計
利用人数	18	16	2	36
1週間の延人数	90	40	2	132
日平均人数(÷5日)	18	8	0.4	26
往復利用延人数	36	16	0.8	53

推計2: 従業員数での拡大推計

・回答対象従業員(2580人)を立地事業所の従業員数(6836人)で拡大推計した場合

拡大率	265%		週5日利用者	週2.5日利用者	週1日利用者	小計
		利用人数	48	42	5	95
		1週間の延人数	238	106	5	350
		日平均人数(÷5日)	48	21	1	70
		往復利用延人数	95	42	2	140

推計3: 事業所数での拡大推計

・回答企業数(43事業所)を立地事業所数(249事業所)で拡大推計した場合

拡大率	579%		週5日利用者	週2.5日利用者	週1日利用者	小計
		利用人数	104	93	12	208
		1週間の延人数	521	232	12	764
		日平均人数(÷5日)	104	46	2	153
		往復利用延人数	208	93	5	306

(5) 自由記述について

○名古屋飛島高速線が必要な理由

- ・現状、名駅方面からの通勤手段に難があるが、良くなれば採用等も変えられるから。
- ・通勤時間の短縮等、利便性向上のため
- ・将来の人材確保の為、アピールできる。出張時、便利に利用できる。
- ・現在は名古屋駅を利用する従業員がいない為、必要ではないが、今後は求人に際してアピールポイントになり得る為
- ・幅広い地域から通勤が容易になる。採用の幅が広がる。
- ・公共交通機関がない（少なすぎる）為
- ・車通勤が主である為、利用する場合、雪によるマイカー通勤が困難な場合か終業後に飲酒をするためがほとんどと思われる。
- ・現状、飛島バスを利用している者も不便さを感じていないため
- ・バス停が徒歩圏内にない為
- ・事業所社員の5割が名古屋市内居住
- ・一定数の利用があり、渋滞緩和に役立つと思う。
- ・毎日通勤するうえで、高速料金が安くなると使いたくても使えない。必要な時だけでも問題はない。
- ・帰社時間に合わない。
- ・全従業員が車で通勤ですが、車の故障などで使用できない場合に公共交通機関があるのはありがたいです。
- ・7:30 始業のため、バス通勤者は遅れてしまう。早い時間の便があると良いと思う。
- ・弊社に限れば名古屋在住の人は半分ほどで、また路線上で利用できる人は少ない為使用する目的がない。
- ・通勤時の渋滞を避けることができる。車を持っていない人が通勤しやすくなる。名古屋駅より1本で通勤できるので便利
- ・沿線に住む者は少ないので、利用機会のごくわずかに限られると思う。残業が発生した場合に夜の時刻に間に合わない可能性があるため、自動車通勤を選択すると思う。
- ・名古屋駅の方が近い従業員がいるため。
- ・自家用車、バスのどちらでも渋滞の影響を受けるのは同じ。私個人なら自由のきく自家用車の方が楽だが、バスが楽だと思える人もいるかもしれない。
- ・組織変更により、社内の一部の部署が秋以降に飛島勤務となる予定であるが、バスの運行本数が少ない為、利用できるかどうか分からないため。
- ・便数及び停留所を考えると、現時点ではどちらともいえない。
- ・名古屋駅に出ると遠回りになり、通勤時間が長くなる。
- ・通勤が遠方の方は必要？（時間の短縮）
- ・利用頻度は少ないが、あれば使う人はいると思います。
- ・稲永駅または名古屋港まで行く手間が省けるから。
- ・名古屋駅付近から飛島臨海部への通勤時間の短縮が図られる。

○自由記述

- ・少しでも渋滞緩和になったり、通勤手段の幅が広がるので、ぜひ実現してください。
- ・夕方の発着の時間が会社の定時とかぶる所が多いと思うので、もう少し時間は考えるべきだと思う。
- ・当社の始業、終業の時間帯の本数が多くないと、利用が難しいと思います。
- ・6時台、19時台の増便
- ・近鉄沿線の方は蟹江駅を利用、あおなみ線は稲永駅を利用すると考えると、名古屋駅ではなく金山でもいいのではないかとも思われる。
- ・金城ふ頭発着の便を設定して欲しい。現状タクシーしか輸送手段がなく、遠方より来客がある場合、都度名港西大橋を使って送迎するのが面倒。30分毎くらいでワゴン車レベルでも良いと思う。あおなみ線があるので、名古屋駅発着の便は不要と思う。
- ・金山総合駅発着便もあればいいと思う。
- ・個人的には自宅近くを通るのでありがたいですし、利用もしたいと思います。ただ会社内では私のみが希望だと思います。全員車通勤で、名古屋以外そして路線より離れたところに住んでいるので、利用は難しいところです。いつも渋滞は避けられないので、高速バスは利用者が多ければとても良いと思います。
- ・名古屋駅から6:45発のバスがあると、より便利です。帰りのバスも16:45発のバスがあると利用しやすい。7:30~16:30の出勤時間もあるため。
- ・最終をもう少し遅くして(20時頃)欲しい。
- ・名古屋高速経由の方が、距離が短く早いのではないか。
- ・飛島高速線についてはありませんが、定期券の購入方法や解約の手続きに制限があるため社員に対して利用を推奨しにくいです。バスの運行本数が少ないので、不規則な時間で働く社員が多い当社では、利用者が限定される傾向があります。
- ・朝便の時間は問題ありませんが、夜便の最終便が早いため定時日(週1)にしか利用できません。名港線の最終便と同じか遅い便があれば、利用者が増えると思います。
- ・利用者に合わせて発着便の増便を図ってほしい。まずは開通させてほしい。